

11. 機関連携

11.1 高大連携

11.1.1 締結校一覧

高等学校と協力して双方の教育の充実・発展及び e ラーニングを柱とする新しい教育システムの確立・普及を主たる目的として、高大連携協定を締結し支援を行っています。平成 15 年 2 月に協定を締結した北海道札幌稲雲高等学校をはじめ、北海道内の公立、私立高等学校と締結しています。平成 22 年 6 月 30 日には、札幌市立高等学校 8 校と高大連携包括協定を締結しました。

令和元年度の高大連携締結校は 50 校です。高大連携協定を締結している高等学校は次のとおりです。

(締結日順)

番号	締結校	締結日
1	北海道札幌稲雲高等学校	平成 15 年 2 月 19 日
2	北海道小樽桜陽高等学校	平成 17 年 4 月 18 日
3	北海道札幌藻岩高等学校 (*)	平成 17 年 6 月 1 日
4	北海道札幌旭丘高等学校 (*)	平成 17 年 9 月 28 日
5	北海道鹿追高等学校	平成 17 年 12 月 1 日
6	北海道札幌新川高等学校 (*)	平成 18 年 10 月 2 日
7	北海道札幌厚別高等学校	平成 19 年 3 月 20 日
8	北海道南茅部高等学校	平成 19 年 4 月 27 日
9	北海道科学大学高等学校	平成 20 年 3 月 13 日
10	旭川実業高等学校	平成 20 年 4 月 26 日
11	北海道札幌丘珠高等学校	平成 20 年 6 月 17 日
12	北海道常呂高等学校	平成 20 年 8 月 7 日
13	北海道千歳北陽高等学校	平成 20 年 12 月 25 日
14	北海道標津高等学校	平成 21 年 7 月 6 日
15	北海道蘭越高等学校	平成 21 年 11 月 19 日
16	北海道羽幌高等学校	平成 22 年 4 月 23 日
17	北海道富良野高等学校	平成 22 年 4 月 23 日
18	北海道士別翔雲高等学校	平成 22 年 4 月 24 日
19	市立札幌開成中等教育学校 (*)	平成 22 年 6 月 30 日
20	北海道札幌清田高等学校 (*)	平成 22 年 6 月 30 日
21	北海道札幌平岸高等学校 (*)	平成 22 年 6 月 30 日
22	北海道札幌啓北商業高等学校 (*)	平成 22 年 6 月 30 日
23	市立札幌大通高等学校 (*)	平成 22 年 6 月 30 日

番号	締結校	締結日
24	札幌日本大学高等学校	平成 22 年 10 月 8 日
25	北海道清里高等学校	平成 23 年 4 月 23 日
26	北海道礼文高等学校	平成 23 年 7 月 14 日
27	北海道函館西高等学校	平成 24 年 3 月 19 日
28	北海道雄武高等学校	平成 24 年 3 月 29 日
29	北海道千歳高等学校定時制課程	平成 24 年 4 月 19 日
30	北海道阿寒高等学校	平成 24 年 4 月 19 日
31	海星学院高等学校	平成 24 年 10 月 15 日
32	北海道上ノ国高等学校	平成 24 年 10 月 29 日
33	北海道美瑛高等学校	平成 24 年 11 月 19 日
34	北海道白糠高等学校	平成 24 年 12 月 27 日
35	北海道津別高等学校	平成 25 年 3 月 21 日
36	北海道壮瞥高等学校	平成 25 年 4 月 18 日
37	函館大学附属有斗高等学校	平成 25 年 4 月 19 日
38	札幌創成高等学校	平成 25 年 8 月 20 日
39	北海道留辺蘂高等学校	平成 25 年 11 月 13 日
40	北海道苫小牧総合経済高等学校	平成 26 年 3 月 27 日
41	北海学園札幌高等学校	平成 26 年 7 月 9 日
42	北海道追分高等学校	平成 26 年 7 月 25 日
43	北海道鷹栖高等学校	平成 26 年 8 月 25 日
44	北海道富川高等学校	平成 26 年 10 月 31 日
45	北海道東川高等学校	平成 27 年 8 月 18 日
46	北海道紋別高等学校	平成 27 年 9 月 10 日
47	北海道長万部高等学校	平成 27 年 11 月 6 日
48	北海道檜山北高等学校	平成 27 年 12 月 10 日
49	北海道札幌西陵高等学校	平成 29 年 7 月 6 日
50	北海道江別高等学校定時制課程	平成 29 年 11 月 24 日

(*) 平成 22 年 6 月 30 日 札幌市立高等学校 (8 校) 高大連携包括協定締結

11.1.2 高大連携支援活動

高大連携校に対し、生徒及び教員が円滑に e ラーニングを活用できるよう、必要な設備の技術検証及び設定、初期導入に必要な授業支援や生徒の個別サポートを行う e ラーニング講習会をはじめとし、様々な支援を行っています。令和元年度に実施した高大連携支援活動は次のとおりです。

11. 機関連携

令和元年度高大連携支援活動一覧

実施日	実施校	支援内容	対象者
9月11日(水)～ 9月18日(水)	札幌藻岩高校、札幌平岸高校、札幌新川高校	職場体験学習(本学)	2年生
10月12日(土)～ 10月13日(日)	札幌開成中等教育学校	プレ先端科学特論(本学)	3年生(中3) 4年生(高1)
12月3日(火)	追分高校	学校見学(本学)	2年生
1月23日(木)	札幌開成中等教育学校	SSH コズモフロンティア セミナー講師	希望生徒
2月1日(土)	札幌日本大学高校	SSH 生徒研究発表会講師	1年生
3月12日(木)	札幌日本大学高校	SSH 生徒研究発表会講師	1年生
2月5日(水)～3 月19日(木)	富川高校	ドローンプログラミング 授業	1年生

11.1.3 高大連携プロジェクト2019

本学と高大連携協定を結んでいる高校の生徒を対象に、実験・実習や作品開発を学べるプロジェクトを開講しています。プロジェクトは「情報プロジェクト」、「自然科学プロジェクト」、「光サイエンスプロジェクト」の3つから成り、興味を持っている分野を選択して受講できます。令和元年度は、連携校を対象に募集しましたが受講希望者はいませんでした。

11.1.4 高大連携校科目等履修生制度

本学では、平成19年度から高大連携協定を締結している高等学校から科目等履修生の受け入れを行っています。この取り組みは、高校生が本学の科目の受講を通じ大学の教育内容についての理解を深め、知識探究への意欲を向上させることを目的としています。この制度の特徴は、eラーニングを利用した遠隔授業で行われ、インターネット環境さえあればいつでもどこでも受講できるよう配慮しています。また、受講生に対しては、本学の基準に基づき成績評価を行い、合格者には単位を認定し、本学に入学した場合には既修得単位として認定も行っています。令和元年度は、履修希望者がいませんでした。

11.2 高大連携研究会

高大連携協定を締結している高校の教員を対象に、高大連携に関する講演や各連携校で実践されている事例発表、eラーニングシステムの利用状況報告など、ICTを活用した効果

的な教育方法の研究を行うことを目的に、高大連携研究会を不定期で開催しています。令和元年度は、eラーニングシステムの大きな変更や高大連携に関わる状況の変化等が無かったことから、開催しませんでした。

11.3 大学間連携

11.3.1 国内大学との連携

- ・平成 18 年 4 月 1 日 信州大学と「eラーニング教材等の開発・運用とその教育評価に関する共同研究」に関する協力協定を締結
- ・平成 20 年 11 月 21 日 北星学園大学と「連携・協力に関する包括協定」を締結
- ・平成 26 年 8 月 22 日 北海道教育大学と「教員養成の高度化に関する協力協定」を締結
- ・平成 30 年 2 月 26 日 札幌国際大学と「学術交流に関する協定書」を締結

11.3.2 海外大学との連携

- ・平成 17 年 12 月 17 日 ポツダム大学（University of Potsdam：ドイツ）と「教育研究協力に関する協定」を締結
- ・平成 22 年 11 月 18 日 湖南大学校（Honam University：韓国）と「教育的・学術的な交流と協力に関する協定」を締結
- ・平成 23 年 1 月 20 日 全南大学校（Chonnam National University：韓国）と「学術交流協定」を締結

11.4 8 大学連携事業

文部科学省「大学間連携共同教育推進事業」

事業テーマ：「学士力養成のための共通基盤システムを活用した主体的学びの促進」

<事業概要>

学士力における質保証に課題意識を持つ、千歳科学技術大学（連携当時）、山梨大学、愛媛大学、佐賀大学、北星学園大学、創価大学、愛知大学、桜の聖母短期大学の 8 大学が国立・私立、理系・文系、学部・短大の枠を越えて連携し、「学士力養成のための共通基盤システムを活用した主体的学びの促進」が平成 24 年度に採択されました。具体的には 8 大学間で学士力に関わる共通基盤的な教育要素をクラウド上の共通基盤システム上に共有し、①大学の入学段階の学生の学習や学修観特性を把握・共有し、各大学で実施すべき初年次系の学修支援プログラムを実施する、②社会の要請に呼応した共通の到達度テストに基づく弱点箇所を eラーニングで主体的に学ぶキャリア系の共通の学修支援プログラムを実施する、③大学間の FD・SD を通じて各大学の特色ある教育方法も共有しながら質の高い教育プログラムを展開し基盤的な知識・技能を活用して自ら問題の解決にあたることのできる自律型人材を育成する、以上がこの事業の目指すものです。

11. 機関連携

一連の取り組みを大学eラーニング協議会、日本リメディアル教育学会、日本情報科教育学会と協働し、他大学や地域社会で活用できる汎用性の高い学習内容や方法を構築し、ユニバーサル時代の日本の高等教育の質向上へ寄与することを目的としています。

令和元年度は、日本語・英語・数学・情報のプレイスメントテスト・到達度テストを実施しました。

今後もテストを継続し、新学習指導要領の生徒が大学に入学することを想定し、継続的な学力調査を行っていくことにしています。

11.5 eラーニング教員免許状更新講習推進機構（KAGAC）

11.5.1 概略

本学は、教員養成大学の東京学芸大学・愛知教育大学と本学の3大学が連携大学として運営全般にあたり、科目提供や修了試験会場提供として、総合大学の山梨大学、愛媛大学、創価大学、島根大学、大手前大学に短期大学の桜の聖母短期大学、函館短期大学が参画し、eラーニング教員免許状更新講習推進機構（KAGAC）を組織しています。

KAGACとして文部科学省の認可を受け、eラーニングによる更新講習を全国展開しています。教員免許状の更新には大学等が開講する講習を30時間受講する必要がありますが、この講習をeラーニングで受講できるようにしています。

この取り組みは、本学が開学以来推進してきたeラーニング活用のノウハウを教員免許状更新講習に生かしたことや、複数の大学が参画することで豊富なコンテンツを提供することが可能となり実現しています。

また、令和2年度からは大阪教育大学も連携校として参画することが決定しています。

11.5.2 令和元年度の取り組み

令和元年度の講習は夏期・秋期の2回開催しました。内容は次のとおりです。

開講科目のうち選択領域で本学の今井順一准教授の「教育の情報化とICT活用」「ICTを活用した数学授業実践」、Randy Evans講師の「理科を英語で教える・学ぶ～English for Science～」 「算数を英語で教える・学ぶ～English for Mathematics～」、岩本一郎非常勤講師の「基本的人権の現在」、中嶋輝明非常勤講師の「心理学入門～人間の記憶・言語・思考のふしぎを探る～」の6科目を開講しました。

	KAGAC 夏期講習
募集期間	平成31年2月18日（月）～ 令和元年6月7日（金）
講習期間	令和元年6月3日（金）～ 令和元年8月16日（金）
修了試験	令和元年8月17日（土）
開講科目	必修領域 2科目 選択必修領域 10科目 選択領域 47科目
受講人数（延べ）	11,503名

	KAGAC 秋期講習
募集期間	平成 31 年 2 月 18 日 (月) ~ 令和元年 10 月 4 日 (金)
講習期間	令和元年 8 月 19 日 (月) ~ 令和元年 11 月 23 日 (土)
修了試験	令和元年 11 月 24 日 (日)
開講科目	必修領域 2 科目 選択必修領域 10 科目 選択領域 47 科目
受講人数 (延べ)	4,948 名